

新エネルギービジョン プロジェクトの評価と見直し

■基本方針1 多くの市民の目に触れ、体感することで環境への意識を高める

1-1<公共施設への新エネルギー率先導入プロジェクト>

○公共施設への率先導入はほぼ完了。今後は更新等にあわせ随時取り組む。

1-2<BDF、雪氷冷熱、木質バイオマスの有効利用プロジェクト>

○廃食用油の回収方法、BDF 活用方法が確立し、一定の成果を得た。

■基本方針2 共働による新エネルギー普及の仕組みをつくる

2-1<市民主導による新エネルギー導入プロジェクト>

○住宅用太陽光の初期導入促進は図られた。今後は市民主体の新エネ事業の促進を図る。

2-2<子どもたちを中心とした新エネルギー啓発プロジェクト>

○エコフェアによる初動啓発から、市民団体開催の新エネ講座が定着。今後も新エネ講座を軸とし、次世代を担う子ども達を意識した普及活動を行う。

■基本方針3 新エネルギーの導入により地域の活性化を図る

3-1<観光施設・スポーツ施設への新エネルギー導入プロジェクト>

○新エネ施設のみによる観光誘客は困難。交流施設の観光要素の1つとなるよう、機会にあわせ導入を検討。

3-2<木質バイオマス導入促進プロジェクト>

○検討事案はあるものの事業実施に至らず。小規模熱利用に主眼を置いた導入検討を継続。

3-3<スマートコミュニティの検討>

○地産地消型需要家 PPS の経済性試算、地域発のデマンドレスポンス効果検証などの成果を得た。かつのパワー構想の実現に向けて、電源の確保にむけた取り組みを進める。

3-4<産業力の強化に向けた取り組み>（新設）

○民間企業による新エネ事業、また新エネ設備導入による経費削減、生産性の向上を図る。また、行政が有する調整機能を発揮し、民間企業の新規導入を促進する。

新エネルギービジョン 今後の取り組み（H28～H32）

基本方針 1. 多くの市民の目に触れ、体感することで環境への意識を高める		
1-1 公共施設への新エネルギー率先導入プロジェクト		
公共施設等への LED 照明の導入	・ 市内防犯灯 4,200 基を LED 化	
基本方針 2. 共働による新エネルギー普及の仕組みをつくる		
2-1 市民主導による新エネルギー導入プロジェクト		
市民出資型の新エネルギー導入	・ 地元企業、自治会、市民団体等と新エネ事業提案事業者のマッチング	
関係者によるコンソーシアムの形成	・ 新エネ事業者と関係者のマッチング	
2-2 子どもたちを中心とした新エネルギー啓発プロジェクト		
学校などでの新エネルギー教育の実施	・ 新エネルギー講座での子供向け普及活動 ・ 八中、花小での電力見える化、DR の実施	
新エネルギーに関する情報提供	・ 新エネルギー講座の開催 ・ 市民啓発用、視察対応用パンフの作成検討	
基本方針 3. 新エネルギーの導入により地域の活性化を図る		
3-1 観光施設・スポーツ施設への新エネルギー導入プロジェクト		
観光拠点施設の新エネルギーパーク化	・ (仮称) 湯の駅おおゆへの導入検討	
新エネルギーパンフレットの作成、民間と連携した新エネルギーの情報発信	・ 市民啓発用、視察対応用パンフの作成検討	
3-2 木質バイオマス等導入推進プロジェクト		
木質バイオマスの熱利用	・ 公共施設のボイラー更新時期の洗い出し	
3-3 スマートコミュニティの検討		
かづのパワー構想の検討	・ 電源確保の模索	
3-4 産業力の強化に向けた取り組み		
民間企業による新エネ導入促進のための情報提供や調整	・ 関係機関との調整	
民間企業による新エネ導入促進のための支援	・ 遊休公共財産の活用 ・ 生産性向上のための企業支援	